

子育て応援情報誌

ファミリーサポート通信



ファミリーサポートセンターは、「子育ての支援（お子さんの預かり・送迎）を受けたい方」と「応援します」という方を結び、地域ぐるみで子育てを支援する事業です。

登別市社会福祉協議会
登別市ファミリーサポートセンター

登別市片倉町6丁目9番地1
登別市総合福祉センター内
tel(0143) 85-0033 fax 88-4546

* ~ご挨拶~ *



登別市ファミリーサポートセンター センター長 坂本 大輔

日頃よりファミリーサポートセンター（愛称「ファミサポ」）の運営にご協力いただきありがとうございます。

子どもを預かってくださる提供会員の皆様には、新型コロナウィルスの影響により、感染症対策の徹底など細心の注意を払いながら、日々の活動にご尽力いただき感謝申し上げます。

ファミサポでは、子どもを預けたい方（依頼会員）、子どもを預かってくださる方（提供会員）、どちらの会員も募集しております。子どもを預けたい方は、「心身ともにリフレッシュしたい」というご相談でもご利用いただけます。また、子どもを預かってくださる方は、子育ての経験があればどなたでも登録（活動）いただけます。

ファミサポは、地域の支え合い活動です。「親も子も孤立させない」を合言葉に取り組んでおります。本年も皆さんのご参加、ご登録をお待ちしております。

講習会・講演会の様子

講習会「子どもの心に寄り添う」～私に寄り添う～

講 師 登別市保健福祉部健康推進G
公認心理士 宮川 愛さん

子どもに寄り添うためには自分自身を大事にすることの大切さを学びました。やる気が出ない時の自分の機嫌の取り方を具体例を挙げて紹介してくださいました。

参加した方からは「子どもへの接し方が変わった」「お話を聞いた後は愛情ホルモンが分泌されている気がした」といった感想が寄せられました。



講習会「小児救急」～子どもの命を守るために～

講 師 登別市消防署のみなさま

2022年7月22日（金）

子どもの突発的な事故や病気への対処と応急処置、AEDの取り扱いなどを学びました。

参加者からは「熱中症の見分け方」「ハチに刺された時の対応」「救急車を呼ぶタイミング」など、積極的に質問が出され、熱気を帯びた講習会となりました。



講演会「相手の心にそっと近づくための傾聴のコツ」

講 師
北海道総合福祉研究センター
理事長 五十嵐 教行さん



2022.11.24（木）

「聴こうとして聴く」傾聴の極意を学びました。相手に寄り添い、プラス思考になるような言葉がけを心得るだけで、人間関係はよりスムーズになるとお話しでした。

また、マスク生活だからこそ、大きくゆっくりした動作でうなずくなど、心のあり様を少し大きめなくらいに表現することの大切さを教えてくださいました。

アロマ体験講座

講演会の前後、アロマサロンsi・zu・kuの遠藤和江さんによるハンドマッサージ体験が開催されました。



講習会「リスクマネジメント」

2022年9月16日(金)

～子どもの命をお預かりするということ～



講 師

モモンガくらぶ事務局長 兼
富岸子育てひろばセンター長

白川 美穂 さん



白川さんによる講習会前のアイスブレイクは、会員同士の顔と名前を覚えることに主眼をおいてくださいり、大変盛り上りました。

実はこのアイスブレイクの意図は他者理解であり、事故防止の心構えとして重要な要素なそうです。楽しいアイスブレイクのおかげで脳が活性化し、講習会の内容もスッと理解できました。

白川さんが講義くださった講習会の要点をお伝えします。

今一度、子どもの命をお預かりすること（リスクを抱える責任）について考え、安心安全な提供活動のために備えましょう。

**リスクマネジメントを学び、意識することで
重大事故を防ぎ、リスクによるダメージを小さくすることができます。**

日頃からの備え

事故防止・リスク回避の方法

- ① 危険を把握する。（例：段差・湯船に残り湯を入れっぱなしなど）
- ② 子どもの年齢による発達の違いなど子どもの特性を理解し、預かる子どもの状態（体調・身体の異変等）を確認する。**他者理解**
- ③ 対応を考える。（例：段差をなくす・浴室に鍵をかけるなど）

事故が起きたら

- ① サブリーダー・センターとすみやかに連絡を取り合い、連携して対応する。
- ② 何時何分（正確に）・どこで何が起きたか・誰が何をしたか・誰が誰に何を言ったか等を詳細に記録する。**（消えないボールペン**など修正できない筆記用具を用いて**手書き**で書く）

**さらに楽しい活動、より質の高い子育て支援のために
日常生活の中で、状況把握と判断をするイメージトレーニングをしましょう。**

ファミリーサポートセンターでは、提供会員・両方会員のみなさまへ「安全チェックリスト」「送迎直前チェックリスト」「ヒヤリハット報告書」「事故報告書」をお渡ししています。今回改めて同封致しましたので、活動前にチェックするように習慣づけましょう。

また、依頼会員の皆さんには事故防止啓発のチラシを同封しています。一読頂き活動中の事故防止にご理解とご協力ををお願い致します。

登別市ファミリーサポートセンター 85-0033

★サポーターご紹介★

～私たちにお任せください！～

登別市ファミリーサポートセンターでは、各地区サブリーダーと一緒に講習会や会議の準備・運営のお手伝いをしてくださるサポーターが活躍しています。普段の依頼でも提供者として活動している皆さんですので、お会いになったことがある方もいらっしゃると思います。

今回、10名のサポーターの皆さんからメッセージを頂きましたのでご紹介します♪♪

【中川 朋子さん】

西陵地区



知り合いから、お子さんをお世話する中で自身の子育て経験を活かしてファミサポ活動している話を聞いて、私もお子さんを預かる活動をしたいと思い、入会しました。

毎回違うお子さんを担当できるので新しい出会いにドキドキ・ワクワクしています。かわいい姿に癒されて過ごしている至福の時間です。

スタッフの皆さんのがたかいお力添えのおかげで、様々な楽しい講習と実技を学ぶことができています。

今後もよろしくお願いします。

【野田 理恵さん】

幌別地区



私の長女の送迎依頼をきっかけに両方会員になりました。

これまでの活動で印象に残っているのは、週に3～4回送迎をしていたお子さんの依頼です。入学後すぐに依頼が始まり、私はずっと提供者として送迎に携わらせて頂きました。お子さんが卒業した時は自分の子を見守ってきたような気持ちで、とても感慨深かったです。

活動を始めた頃は、よそのお子さんを預かったり送迎することに不安がありましたが、お子さん達とおしゃべりしたり接していく中で自分も成長させて頂くことがたくさんありました。

これからもできることをお手伝いしたいです。

【伊藤 夏子さん】

緑陽地区



富岸子育てひろばにて行われたファミサポ説明会に参加したことがきっかけです。そこからはあれよあれよという間に～(笑)

小さな男の子を保育所へ送って行くのを担当させてもらっていました。出逢った頃はまだあまりおしゃべりが上手ではありませんでしたが、月日が経つごとに言葉もたくさん覚えてコミュニケーションも取れるようになりました。日々の成長を感じられて嬉しい体験でした。

ファミサポのメンバーさんは皆さん本当に素敵なお人柄の方ばかりです。お会いしてお話をさせて頂くたびに心がほっこりとなります。いつもいつも本当にありがとうございます。

【渋谷 美由紀さん】

西陵地区



夫の転勤で引っ越して來たのですが上の子の幼稚園の参観のため下の子の預け先を探していてファミサポを知り、知人もいなかったので思い切って話を聞きに行ったのが入会のきっかけです。

たくさん活動してきましたが、自分の子どもと一緒に依頼者さんのお子さんを預かったことが特に印象に残っています。一人一人違うので大変かと思いましたが、いつの間にか仲良くなつて遊んでいて、にぎやかで楽しかったです。

私のように、家族の転勤などで困った時には勇気を出してファミサポに連絡してみると良いと思います。

自分一人でがんばらなくても大丈夫。

私はファミサポで知り合いも増え、子どもたちにも友だちができて、とても良かったと思っています。

ご興味のある方は
センターまで
お電話ください

あなたもサポーターに登録して一緒にファミサポを盛り上げませんか？

登別市ファミリーサポートセンター 85-0033

【佐々木 志保さん】

西陵地区

私の実家は近所にあり子育てをよく助けてもらいました。余裕ができたら何か自分にできることがあればと思っていたところ、周りにファミサポ会員の友人が多く、とても魅力的な方たちばかりだったので私も仲間入りしたいと思い、入会しました。

講習会や会議で皆さんにお会いすると温かい雰囲気にホッとしすぎて涙が出そうになります。依頼者の方たちのためにできることを真剣に話し合う姿いつも心が磨かれ、精進せねばという気持ちになります。

活動では、保育所への送迎の際、お子さんが私を見付けた途端、走り寄ってきてムギューッとしてくれ、とても愛おしい気持ちになります。

子育ての時期は大変だけど貴重な宝の時間です。一人で悩まずファミサポに相談して頂けたらと思います。一緒に考えてサポートしてくれる人が待っています。



【宿村 真希代さん】

緑陽地区

自分の子どもの小学校入学をきっかけに空いた時間で何かできないかなと思った時にファミサポの存在を知り登録しました。

我が子が小さい頃は忙しさで子どものかわいさを味わってるひまはなく、とにかくこなしている感じでした。初めて依頼会員のお子さんを託児した時ほんとにかわいくて、優しい気持ちになれてる自分に気付いたことを覚えています。

おじいちゃんおばあちゃんが近くにいなくてお子さんの預け先がない方、たまにはママだって一人の時間が欲しいと思うこともあると思います。ぜひ安心してファミリーサポートを利用して欲しいと思います。



【笹森 明美さん】

緑陽地区

市の広報に入っていた“会員募集！”のチラシを時々見ていて自分の子育ても落ち着いたし、また小さい子を抱っこしたいと思っていました。自分が活動できる曜日や時間でOKとのことだったので私でもお役に立てるかと思い入会しました。

生後2か月の赤ちゃんをお預かりしたことがありました。（とてもかわいかった！）知らない人に預けるお母さんの気持ちはどんなに不安だったかと思いますが、こういう時のファミサポの存在は大きいものですね。

提供会員さんは素敵な人ばかり。私自身、勉強になることばかりです。

依頼会員さん、安心して預けてはいかがでしょう。ご自身のリフレッシュも大切だと思いますよ。



【三浦 美代子さん】

鶴別地区

子どもが小さい時に預け先に困った経験があったため、自分にできことがあれば困っている誰かのために役に立ちたい!!応援したい!!という気持ちから入会しました。

ヨチヨチ歩きの時にお預かりしたお子さんと、小学校高学年頃に再会した時はとても嬉しく感動しました。

誰かのお役に立ちたいという気持ちから始めた活動でしたが、逆にお子さんたちから元気とパワーをもらい、癒されています。

大切な命をお預かりするということを常に心に受け止め、講習会に参加してスキルアップをし、活動を継続していきたいと思っています。



【佐藤 唯さん】

幌別地区

子どもが小さい頃、急な用事で預け先に困らないために入会しました。その時に、預かりや送迎のお手伝いができる両方会員について紹介して頂きました。

お子さんを預かって一番印象に残っているのは、どんなに人見知りの子でも最後は笑顔を見せてくれたことです。一人一人のお子さんで性格も違うので、その子その子で対応も変えていかなければならないことに毎回やりがいを感じています。

ファミサポでお預かりする前に顔合せをするのでお互いに安心です。お気軽に連絡ください。



【林 礼子さん】

幌別地区

私自身が子どもが幼い時からずっと働いてきた経験上、退職後は子育て世代の方々のサポートをしたいと思っていたところ、ファミサポのチラシを見て、すぐ入会しました。

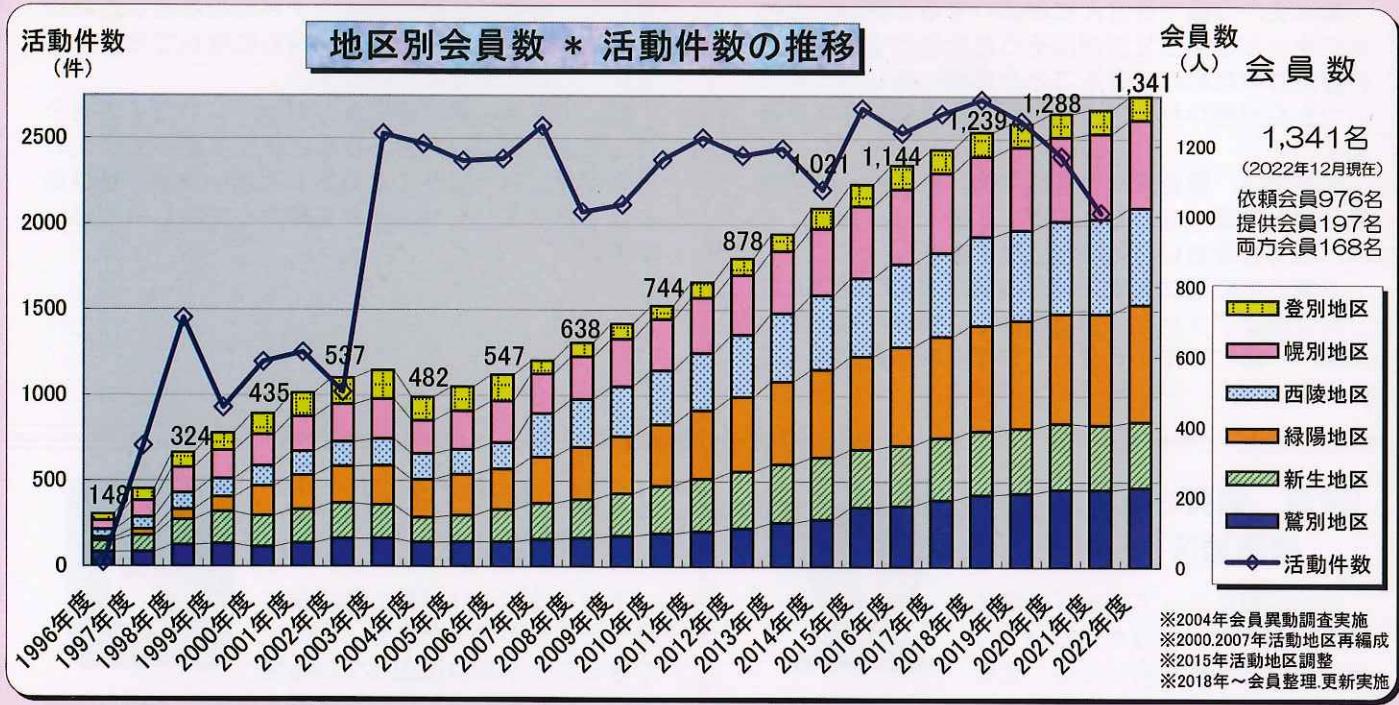
預かったお子さん皆さんに共通していると思うのですが、幼いながらも親のいない状況を受け入れ楽しく過ごそうとしている姿に頼もしさを感じます。

親御さんが迎えに来るまで心身ともに無事にお預かりできるように心がけています。



登別市ファミリーサポートセンター活動実績

- ✿ 設立年月日:平成8年(1996年)8月1日
- ✿ 設置者:登別市
- ✿ 運営者:登別市社会福祉協議会



緊急カードをご活用ください



ファミサポ提供活動中における万が一の事故や災害発生時に備え、対応の手順を示した緊急カードを作成しました。事故発生時は水色、災害発生時用は黄色のカードです。

今回、提供会員と両方会員のみなさまに同封しております。内容をご確認し、サブリーダー連絡先など必要な情報を記載の上、わかりやすい場所に貼っておきましょう。

～リスクマネジメントのイメージトレーニングに活用しましょう～

提供活動前に緊急カードや安全チェックリストなどを一読する、本号3ページの記事を読み返すなど、日頃から定期的に意識することでリスクマネジメントのトレーニングになります。

ぜひ、習慣として取り組んでみてください。

※緊急カードのラミネート加工が必要な方は、ご連絡ください。



センターに来訪の際は事前にお電話で日時をお知らせください。
突然のお越しですと、アドバイザーが会議や外勤等により不在にしていたり、必要物品の用意に時間がかかりお待たせしてしまう可能性があります。ご協力よろしくお願いします。

登別市ファミリーサポートセンター 85-0033